

第2章 ギャンブル等依存症をめぐる状況

1 ギャンブル等をめぐる状況

(1) 県内における公営競技、遊技場店舗等の状況

【県内の公営競技場】

競技名	競技場名	所在地	競技施行者
競馬	金沢競馬場	金沢市	石川県 金沢市
ボートレース	ミニボートピア津幡	津幡町	群馬県みどり市

※ミニボートピア津幡はボートレース桐生の場外販売場

【県内の遊技場店舗】

ぱちんこ店舗数	89 店舗
---------	-------

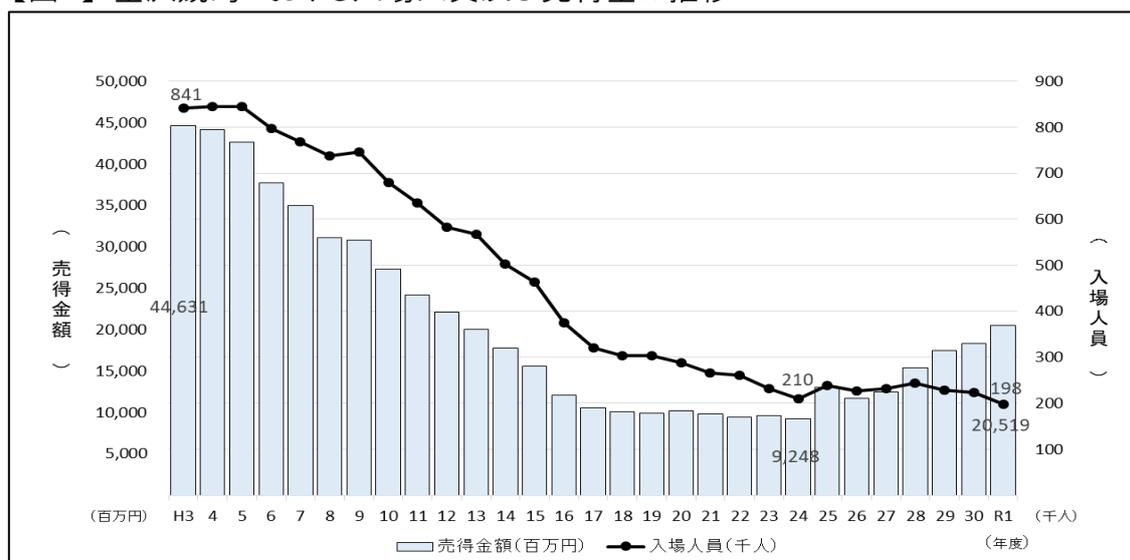
R2.3.31 現在

(2) 競馬の状況（売得金額、利用者数）

金沢競馬の入場人員は、年々減少していましたが、平成 24 年度以降は、ほぼ横ばいに推移し、令和元年度は 198,000 人となっています。

また、売得金については、インターネット投票による参加者が増加したことにより、近年は増加傾向にあります。

【図1】 金沢競馬における入場人員及び売得金の推移

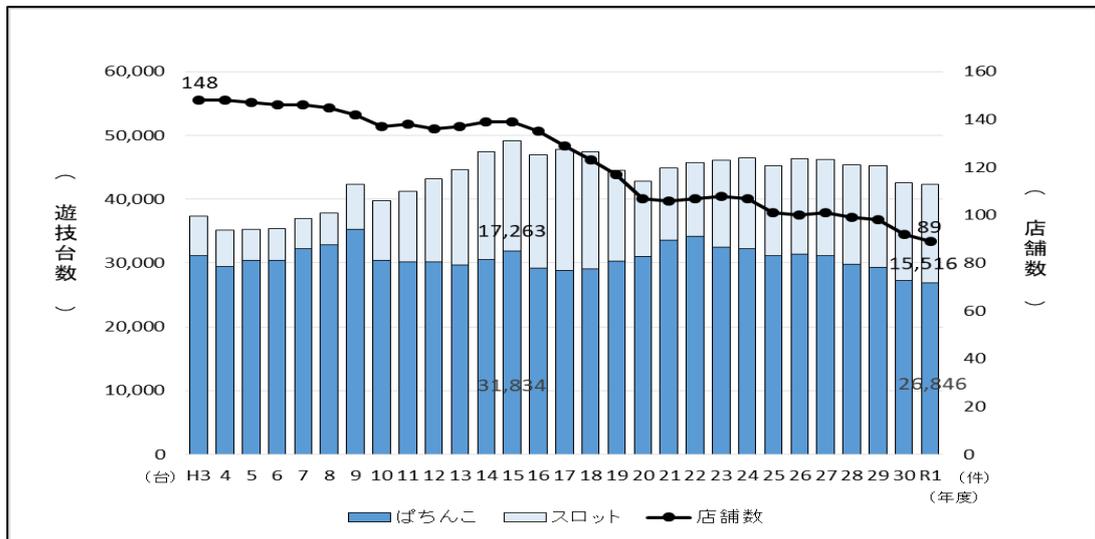


出典：県競馬事業局調べ

(3)ぱちんこの状況(店舗数、遊技台数)

県内のぱちんこ店舗数及び遊技台数は、緩やかに減少傾向にあり、令和元年度の店舗数は 89 店舗、遊技台数は 42,362 台(ぱちんこ台:26,846 台、スロット台:15,516 台)となっています。

【図2】 県内におけるぱちんこの店舗数及び遊技台数の推移



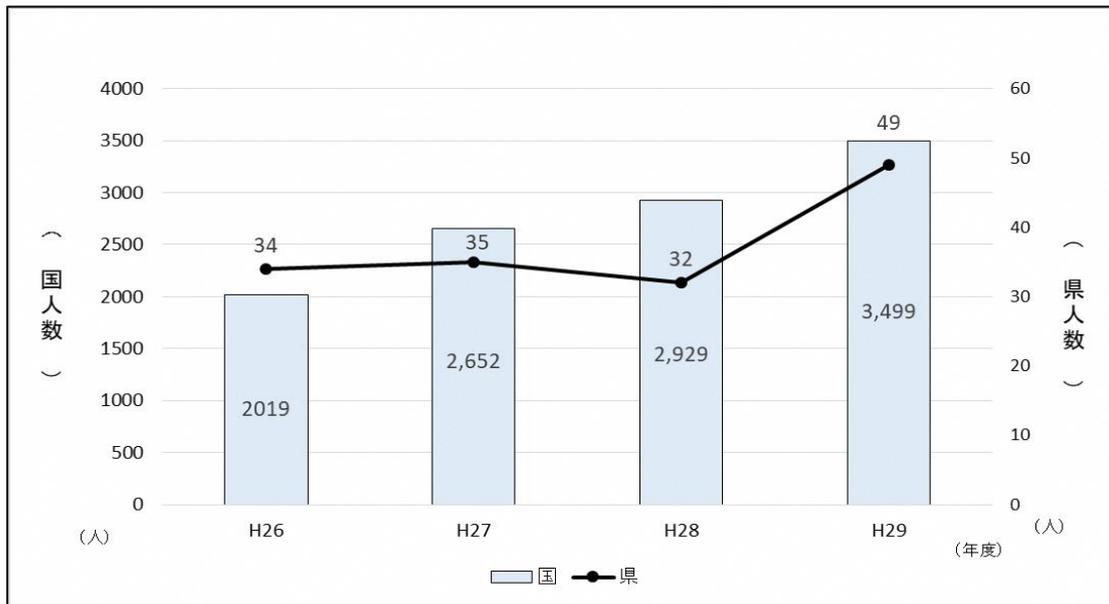
出典:全日本遊技事業協同組合連合会ホームページ「遊技場店舗数、遊技台数一覧表」

2 ギャンブル等依存症の状況

(1)ギャンブル等依存症患者数

ギャンブル等依存症の通院患者数は、国、県ともに増加傾向にあり、本県の H29 年度の患者数は 49 人となっています。

【図3】ギャンブル等依存症外来患者数(1回以上)の推移



出典:精神保健福祉資料(NDB:レセプト情報・特定健診等情報データベースによる分析結果)

【表1】ギャンブル等依存症の患者数・率(人口 10 万対)

			H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
入院	石川県	人数	0-9	0-9	0-9	0-9
		率	-	-	-	-
	全 国	人数	205	243	261	280
		率	0.16	0.19	0.21	0.22
通院	石川県	人数	34	35	32	49
		率	2.94	3.03	2.78	4.27
	全 国	人数	2,019	2,652	2,929	3,499
		率	1.59	2.09	2.31	2.76

出典：精神保健福祉資料(NDB:レセプト情報・特定健診等情報データベースによる分析結果)

※石川県の入院患者数は少数であるため、人数が「0-9」となり、人口 10 万対は算出不可

※人口のデータソースは総務省人口推計(各年 10 月 1 日現在)

【参考】ギャンブル等依存症が疑われる者(推計)

	割合	全国	石川県
ギャンブル等依存症が疑われる者 (過去 1 年以内)	0.8%	70 万人	7 千人
ギャンブル等依存症が疑われる者 (生涯)	3.6%	320 万人	33 千人

出典：日本医療研究開発機構「国内のギャンブル等依存に関する疫学調査」(H29)

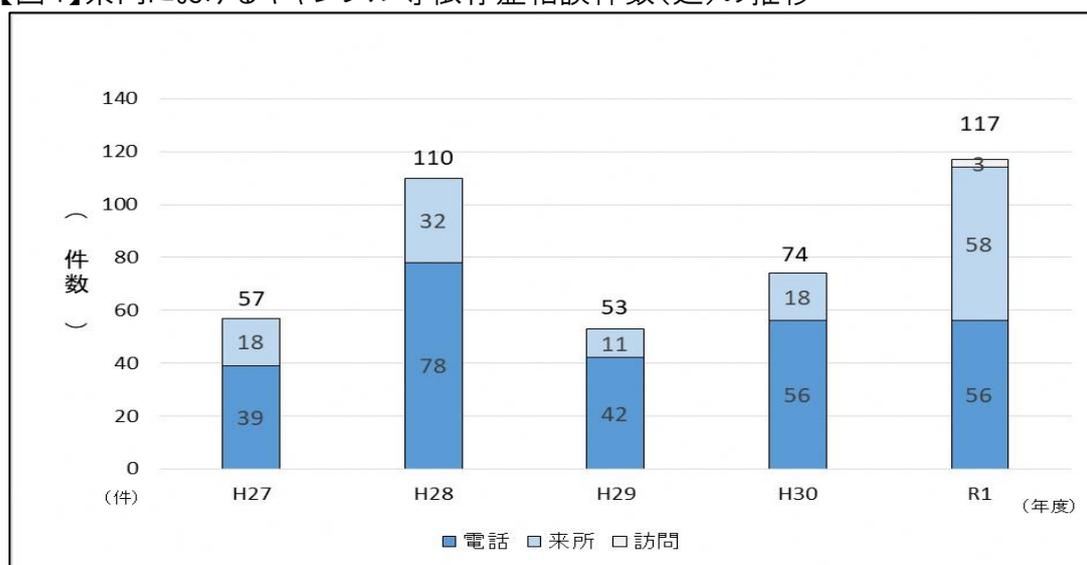
※世界で最も多く用いられている簡易スクリーニングテスト SOGS による。20 点満点の質問項目中 5 点以上の場合にギャンブル等依存症の疑いありとされる。

※石川県の人口のデータソースは平成 27 年国勢調査における成人人口

(2)ギャンブル等依存症相談件数

県こころの健康センター及び県保健福祉センター、金沢市福祉健康センターにおけるギャンブル等依存症に関する相談件数は、増減を繰り返しながら推移しており、令和元年度の相談件数(延)は 117 件となっています。

【図4】県内におけるギャンブル等依存症相談件数(延)の推移



出典：県障害保健福祉課調べ

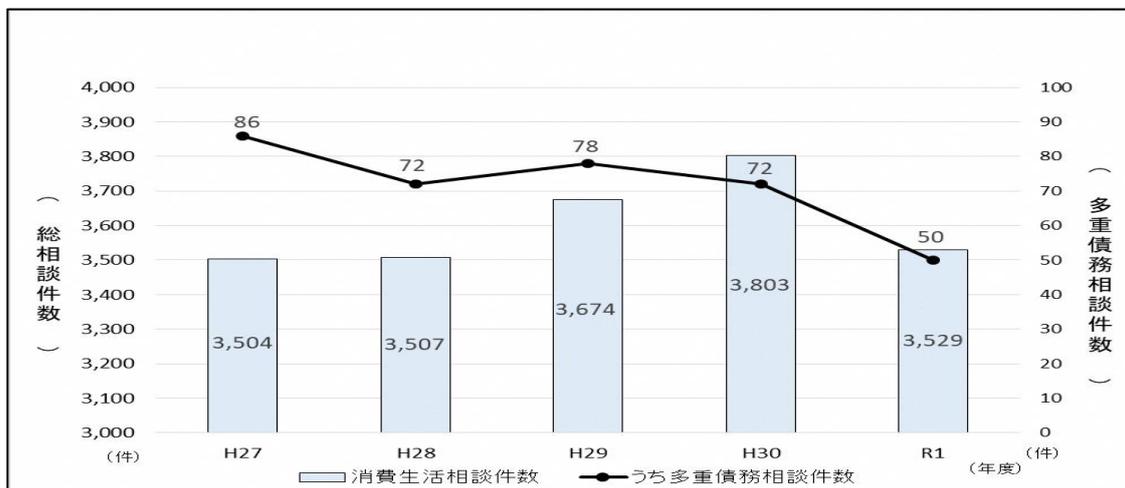
※県こころの健康センター、県保健福祉センター、金沢市福祉健康センターにおける相談件数

(3)ギャンブル等依存症関連問題の状況

ア 多重債務相談件数

県消費生活支援センターにおける消費生活相談件数は、概ね横ばいで推移しており、令和元年度は 3,529 件となっています。このうち多重債務相談件数は、全体の約 1～2%程度で推移しており、令和元年度は 50 件となっています。

【図 5】県消費生活支援センターにおける多重債務相談件数の推移



出典：全国消費生活情報ネットワークシステム(PIO-NET)

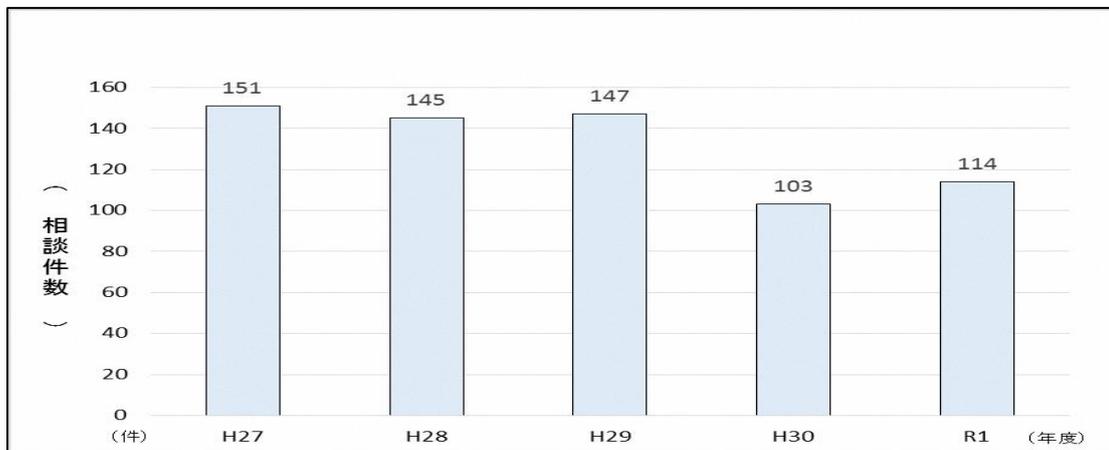
(参考)全国の県消費生活支援センターにおける消費生活相談件数と多重債務相談件数(件)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
消費生活相談件数	929,991	890,721	941,517	996,671	939,080
うち多重債務相談件数	29,198	26,071	26,439	25,333	23,610

出典：全国消費生活情報ネットワークシステム(PIO-NET)登録件数(2020.12.14 現在)

県司法書士会が実施している司法書士電話相談(へるぷねっといしかわダイヤル)における多重債務の相談件数は、令和元年度 114 件となっています。

【図 6】司法書士電話相談における多重債務相談件数の推移

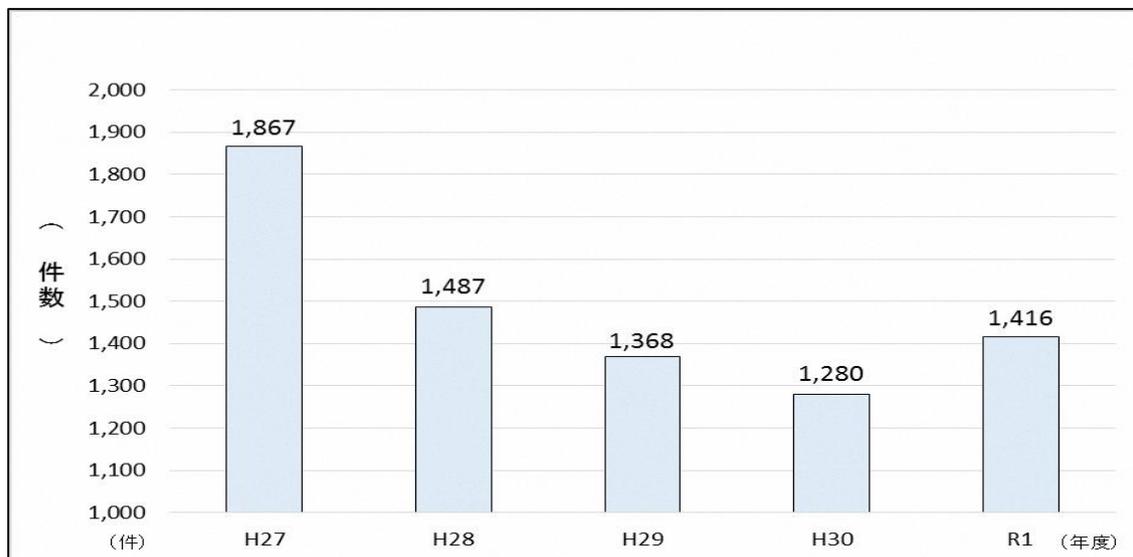


出典：石川県司法書士会調べ

イ 生活困窮相談件数

生活困窮の新規相談受付数は、年々減少していましたが、令和元年度は増加に転じ、1,416 件となっています。

【図 7】生活困窮新規相談受付件数の推移



出典：県厚生政策課調べ

ウ 自殺

ギャンブル等依存症は、自殺の危険因子の一つであることが指摘されています。

本県の自殺者数は減少傾向にあり、令和元年の自殺者数は 160 人となっています。

【表2】自殺者数・率(人口 10 万対)

		H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	R1 年
石川県	人数	209	177	189	146	160
	率	18.3	15.5	16.6	12.9	14.2
全 国	人数	23,152	21,017	20,465	20,031	19,425
	率	18.5	16.8	16.4	16.1	15.7

出典：厚生労働省「人口動態統計」

エ 配偶者暴力

ギャンブル等依存症によって、理性の働きが抑えられること等による暴力との関連が指摘されています。

本県の配偶者暴力相談支援センターへの相談件数は、ほぼ横ばいで推移しており、令和元年度は 1,714 件となっています。

【表3】県配偶者暴力相談支援センターへの相談件数(件)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
石川県	1,603	1,473	1,610	1,616	1,714
全 国	111,172	106,367	106,110	114,481	119,276

出典：石川県 県男女共同参画課調べ、全国 内閣府男女共同参画局

※石川県…配偶者暴力相談支援センター(石川県女性相談支援センターと金沢市女性相談支援室)における相談件数
全 国…全国の配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数

オ 児童虐待

児童虐待のリスク要因はいろいろと考えられていますが、その1つとしてギャンブル等依存症が関係していると言われています。

本県の児童相談所における児童虐待相談対応件数は、年々増加しており、令和元年度は1,187件となっています。

【表4】児童相談所における児童虐待相談対応件数の推移(件)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
石川県	728	846	867	1,084	1,187
全 国	103,286	122,575	133,778	159,838	193,780

出典：厚生労働省「福祉行政報告例」

※石川県…県児童相談所及び金沢市児童相談所における相談対応件数
全 国…全国の児童相談所等における相談対応件数

カ 犯罪

犯行の動機・原因の1つとしてギャンブル等への欲求があります。

本県における刑法犯件数は減少傾向にあり、令和元年は2,246件となっています。

【表5】刑法犯件数の推移(件)

	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	R1 年
石川県	3,164	2,684	2,409	2,146	2,246
全 国	357,484	337,066	327,081	309,409	294,206

出典：警察庁「犯罪統計」